

単元ごとの指導と評価の計画・記録シート（ミニ版）

授業者名：〇〇 〇〇

科目名	生物基礎	クラス・類型	第1学年
単元名	神経系と内分泌系による調節	予定時間	9時間
単元ごとの観点別学習状況の評価規準			
知・技	神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		
思・判・表	情報の伝達について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。		
主体的態度	情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		

時間	学習活動	重点項目	記録	評価の規準	授業チェックと改善方法 (実施後記入)
1	恒常性と体液、血液凝固の仕組みについて学ぶ。	知		恒常性と体液について理解し、体液の種類やそれらの役割・血液凝固の仕組みについて理解している。	
2	血液の酸素運搬の仕組みについて学び、酸素解離曲線を用いた計算問題に取り組む。	思	◎	酸素解離曲線を読み取り、組織で酸素を解離したヘモグロビンや酸素ヘモグロビンの割合を計算できる。成人と胎児の酸素解離曲線を比較して違いを理解できる。(小テスト)	
3	恒常性と神経系について学び、交感神経と副交感神経の働きについて理解する。	知		交感神経と副交感神経の相違点と、内蔵諸器官でのそれぞれの作用について理解している。	
4	心拍数の変化の実験を行い、交感神経と副交感神経が拮抗して働くことを理解する。	態	◎	心拍数の変化の実験に主体的に取り組む、交感神経の働きについて理解している。(実験プリント)	
5	内分泌系が働く仕組みについて理解する。	知		ホルモンの種類や内分泌腺の例を把握し、その分泌の仕組みについて理解する。	
6	ホルモン分泌調節の仕組みについて理解する。	思	◎	フィードバック調節によって、ホルモンの分泌が調節されることを説明できる。(記述分析)	
7	血糖濃度の調節の仕組みについて理解する。	知	◎	血糖濃度調節の仕組みを理解している。(小テスト)	
8	肝臓と腎臓の構造と働きについて学ぶ。	知		腎臓の主な構造とろ過・再吸収における物質の移動について理解している。肝臓のもつ多様な機能について恒常性の役割から理解している。	
9	血しょうや原尿、尿の成分表を基に、原尿量を求める計算問題に取り組む。	思		腎臓で生成される原尿の量を計算できる。	
10	体温調節の仕組みについて理解する。	知		体温調節の仕組みを理解している。	

凡例 知：「知識・技能」、思「思考・判断・表現」、態「主体的に学習に取り組む態度」

◎…記録として残して、後で総括的な評価のための資料とするもの。